

別紙

経済産業省

27商ガ安第30号
平成28年1月7日

一般社団法人全国LPガス協会 殿

経済産業省商務流通保安グループガス安全室

建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（協力依頼）

標記の件について、今般、当省では、ガス事故における建設工事等に係る事故（他工事事故）の防止に向け、別添のとおり厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室長及び国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長に対し、協力要請を行いましたので、その旨お知らせいたします。

なお、再発事故防止の観点から、貴団体においても傘下の事業者等に対し、以下の事項の周知を行って頂きますようお願いいたします。

- ・建設工事等事業者に対し、工事を施工する前には必ずガス管等について液化石油ガス販売事業者等に照会・確認するとともに、ガス管を見つけた場合は、必ず液化石油ガス販売事業者等に連絡すること等について、周知を行うこと。
- ・必要に応じて建設工事等の際に立ち会うこと。
- ・供給管・配管の工事を行う際は、事故防止のため、外注先の特定液化石油ガス設備工事に係る届出、液化石油ガス設備士資格の有無及び再講習の受講状況を確認することにより適切に監督すること。



経済産業省

27商ガ安第30号

平成27年12月24日

厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課
建設安全対策室長 奥村 伸人 殿

経済産業省 商務流通保安グループ
ガス安全室長 大本 治康

建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（協力依頼）

ガス事業者（都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。）以外の者が行う建設工事等に伴い、毎年ガス管を損傷するなどの事故が発生しており、平成22年から平成26年の5年間で444件、負傷者数46名に上っています。こうしたガス事業者以外の者によるガス事故が毎年1割以上の割合で発生し、平成27年は11月末時点で、既に98件発生しております。

最近の事件事例では、平成27年5月に、水道工事業者が水道管入替工事に伴う床壊し作業を行っていた際、コンクリートに埋設されているガス管を電動工具で損傷し、漏れたガスに引火し火災が発生、作業員2名が負傷する事故や、平成27年11月に、住宅新築工事現場で、バルク貯槽からの供給管を下水道工事業者が破損し、ガスを止めようとして掘削穴に入った作業員が低酸素脳症のため死亡する事故が発生しました。

こうした建設工事等におけるガス管損傷事故は、ガス事業者以外の者による建設工事等において生じる場合が少なくなく、その原因としては、①施工者がガス管の存在を知らずに工事に着手してしまった、②目的の配管と誤ってガス管を切断してしまった、③ガス漏えいの処置を自ら行おうとし、誤って着火させてしまった、④ガス臭に気付いたがそのまま作業を続け、その後漏えいガスに着火してしまった、また、⑤ガス事業者へ事前照会を行っていたものの、確認した内容を現場作業員に伝えていなかったなど、事故の内容から判断し、明らかに施工者による確認ミス、作業ミス等が原因となり発生しているものが多数あります。

つきましては、このような建設工事等におけるガス管損傷事故の再発防止の観点から、建設工事等に係る事業者等に対し、以下の要請を行っていただきますようお願いいたします。

- ・工事前には、ガス事業者には、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者へ立会を求めること。
- ・ガス事業者へ照会して得られた情報は、現場の作業員全員に周知して適切な作業が行われるようにすること。
- ・ガス管が埋設されている付近は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
- ・敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部よりも浅い場所にあることが多いため、特に注意すること。
- ・工事の際、ガス管及びガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者へ連絡すること。
- ・ガス臭いと感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者へ連絡すること。

(添付資料)

- ・参考資料 1 平成 26 年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料 2 平成 27 年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料 3 建設工事等事業者向けパンフレット

http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/lpgas/files/0226takoji.pdf

(参考) 最近の建設工事等によるガス管・ガス設備損傷事故件数の推移

| ガス事故（建設工事等）件数 | 平成 22 年 | 平成 23 年 | 平成 24 年 | 平成 25 年 | 平成 26 年 | 計 |
|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|
| ガス事故件数 | 587 | 694 | 731 | 974 | 861 | 3,847 |
| うち、都市ガス | 383 | 467 | 471 | 767 | 674 | 2,762 |
| 液化石油ガス | 204 | 227 | 260 | 210 | 187 | 1,085 |
| 建設工事等事故件数 | 78 | 74 | 93 | 90 | 109 | 444 |
| うち、都市ガス | 61 | 61 | 70 | 72 | 90 | 354 |
| 液化石油ガス | 17 | 13 | 23 | 18 | 19 | 90 |
| うち、事前照会無し | 60 | 50 | 60 | 68 | 84 | 322 |
| 建設工事等事故による負傷者数 | 7 | 16 | 10 | 9 | 4 | 46 |

(経済産業省ガス安全室調べ)

経 済 産 業 省

27商ガ安第30号

平成28年1月6日

国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長 木村 実 殿

経済産業省 商務流通保安グループガス安全室長 大本 治康

建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（協力依頼）

ガス事業者（都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。）以外の者が行う建設工事等に伴い、毎年ガス管を損傷するなどの事故が発生しており、平成22年から平成26年の5年間で444件、負傷者数46名に上っています。こうしたガス事業者以外の者によるガス事故が毎年1割以上の割合で発生し、平成27年は11月末時点で、既に98件発生しております。

最近の事故事例では、平成27年5月に、水道工事業者が水道管入替工事に伴う床壊し作業を行っていた際、コンクリートに埋設されているガス管を電動工具で損傷し、漏れたガスに引火し火災が発生、作業員2名が負傷する事故や、平成27年11月に、住宅新築工事現場で、バルク貯槽からの供給管を下水道工事業者が破損し、ガスを止めようとして掘削穴に入った作業員が低酸素脳症のため死亡する事故が発生しました。

こうした建設工事等におけるガス管損傷事故は、ガス事業者以外の者による建設工事等において生じる場合が少なくなく、その原因としては、①施工者がガス管の存在を知らずに工事に着手してしまった、②目的の配管と誤ってガス管を切断してしまった、③ガス漏えいの処置を自ら行おうとし、誤って着火させてしまった、④ガス臭に気付いたがそのまま作業を続け、その後漏えいガスに着火してしまった、また、⑤ガス事業者へ事前照会を行っていたものの、確認した内容を現場作業員に伝えていなかったなど、事故の内容から判断し、明らかに施工者による確認ミス、作業ミス等が原因となり発生しているものが多数あります。

つきましては、このような建設工事等におけるガス管損傷事故の再発防止の観点から、建設工事等に係る事業者等に対し、以下の要請を行っていただきますようお願いいたします。

- ・工事前には、ガス事業者に、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者に立会を求めること。
- ・ガス事業者に照会して得られた情報は、現場の作業員全員に周知して適切な作業が行われるようにすること。
- ・ガス管が埋設されている付近は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
- ・敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部よりも浅い場所にあることが多いため、特に注意すること。
- ・工事の際、ガス管及びガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者に連絡すること。
- ・ガス臭いと感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者に連絡すること。

(添付資料)

- ・参考資料 1 平成 26 年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料 2 平成 27 年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料 3 建設工事等事業者向けパンフレット

http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/lpgas/files/0226takoji.pdf

(参考) 最近の建設工事等によるガス管・ガス設備損傷事故件数の推移

| ガス事故 (建設工事等) 件数 | 平成 22 年 | 平成 23 年 | 平成 24 年 | 平成 25 年 | 平成 26 年 | 計 |
|-----------------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|
| ガス事故件数 | 587 | 694 | 731 | 974 | 861 | 3,847 |
| うち、都市ガス | 383 | 467 | 471 | 767 | 674 | 2,762 |
| 液化石油ガス | 204 | 227 | 260 | 210 | 187 | 1,085 |
| 建設工事等事故件数 | 78 | 74 | 93 | 90 | 109 | 444 |
| うち、都市ガス | 61 | 61 | 70 | 72 | 90 | 354 |
| 液化石油ガス | 17 | 13 | 23 | 18 | 19 | 90 |
| うち、事前照会無し | 60 | 50 | 60 | 68 | 84 | 322 |
| 建設工事等事故による負傷者数 | 7 | 16 | 10 | 9 | 4 | 46 |

(経済産業省ガス安全室調べ)

平成26年の建設工事等におけるガス損傷事故

| 発生日 | 都道府県 | 工事 | ガス | 人的被害 | 事故概要 |
|------|------|---------|------|------|--|
| 1/6 | 大阪 | 宅地造成工事 | 都市ガス | 0 | 団地内において他工業者が重機を用いて宅地造成中、誤って先行埋設されていた灯外内管を破損したためガス漏れが発生し、警察・消防が出動。警察により周囲の道路において77分間、交通規制が行われた。 |
| 1/7 | 茨城 | 水道工事 | LPガス | 0 | 共同住宅において、水道設備工業者が埋設水道管の工事を行うためコンクリートカッターを使用していたところ、容器収納庫から建屋に至る埋設供給管(プラスチック被覆鋼管)を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、水道設備工業者が販売事業者への事前照会をしておらず、埋設供給管の設置位置の確認を怠ったため、誤って当該供給管を損傷し、ガスが漏えいしたものである。 |
| 1/7 | 東京 | 改装工事 | 都市ガス | 0 | 設備工業者よりリフォーム工事中にガス管を損傷したとの連絡を受け確認したところ、集合住宅の灯外内管(白管20mm)を電動ハンマにて損傷していた。引込管ガス遮断装置を閉止したことにより、当該集合住宅の供給支障(31戸、3時間18分)が発生した。 |
| 1/14 | 青森 | 土木工事 | LPガス | 0 | 一般住宅において、土木工業者が敷地内の駐車場を掘削していたところ、重機で埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、土木工業者が販売事業者への事前照会をしておらず、埋設供給管の位置を確認せずに掘削工事を行ったため、誤って重機で当該供給管を損傷し、ガスが漏えいしたものである。 なお、当該住宅は集団供給によりガスが供給されていたため、土木工業者は敷地内に供給管が埋設されているという認識がなかった。 |
| 1/15 | 宮城 | 土木工事 | LPガス | 0 | 空き地において、建設工業者が敷地内で電柱取付工事を行っていたところ、地面に電柱を支持するために使用するピックで埋設供給管(PE管)を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、建設工業者が販売事業者への事前照会をしておらず、埋設供給管の位置を確認せず電柱取付工事を行ったため、誤ってピックで当該供給管を損傷し、ガスが漏えいしたものである。 なお、埋設供給管の地上面には表示杭が設置されていたが、事故発生時には当初の位置から1m程ずらされていた。 |
| 1/16 | 滋賀 | 水道工事 | 都市ガス | 0 | 他工業者(水道工業者)が掘削機で供給管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて付近の住民を近隣集会所へ避難(11名、2時間53分)を実施した。原因は、ガス管近傍で掘削作業を行ったため破損したもので、破損導管は不使用の不明管であった。 |
| 1/19 | 大阪 | 改装工事 | 都市ガス | 0 | 他工業者(改装工業者)が電動のこぎりで共用内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路(南北道路:幅員6.0m、延長98m)の交通規制(1時間6分)を実施した。 |
| 1/21 | 東京 | 水道工事 | LPガス | 0 | 道路において、水道工業者が掘削作業を行っていたところ、スコップで埋設供給管(PE管)を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、水道工業者がスコップにて掘削作業を実施した際、誤って埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいしたものである。 なお、水道工業者は埋設供給管が近接していることを認識していたため、スコップによる手掘り作業を行っていたが、地盤が非常に固かったため力が入りすぎ、埋設供給管を損傷した。 |
| 1/22 | 三重 | 水道工事 | 都市ガス | 0 | 水道工業者が水道管工事中に重機にて供給管を破損しガスが漏えいした。電気破砕機を使用していたため漏えいしたガスに着火したものと推定される。 |
| 1/24 | 神奈川 | 外構工事 | 都市ガス | 0 | 外構工事中にガス管を損傷したとの通報を受け確認したところ、工業者がコンクリートはつり作業中に灯外内管(PLP25mm)を損傷した。消防にて付近道路(幅6.7m、延長約105m)の交通規制(1時間15分)を実施した。 |
| 1/24 | 大阪 | 敷地内衛生工事 | 都市ガス | 0 | 他工業者(衛生工業者)が掘削機で灯外内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路(南北道路:幅員3.8m、延長40m、東西道路:幅員4.3m、延長60m)の交通規制及び付近住民の避難(10名、27分間)を実施した。 |

| 発生日 | 都道府県 | 工事 | ガス | 人的被害 | 事故概要 |
|------|------|---------|------|------|---|
| 1/25 | 東京 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体業者より家屋解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受け確認したところ、建設機械にて灯外内管をコンクリート構造物と一緒に引っ張ったため、供給管を損傷した。消防にて付近道路(幅4.0m、延長50m)の交通規制が行われた(1時間3分)。 |
| 1/25 | 東京 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 付近住民よりガス臭いとの通報を受け確認したところ、解体工事現場の屋外に埋設されていた灯外内管(25mm)が折損してガスが漏えいし、消防にて付近道路(幅4.0m、延長約57m)の交通規制が行われた(1時間)。 |
| 1/28 | 長野 | 電柱施設工事 | 都市ガス | 0 | 電柱立業者が電柱を設置するための敷地内掘削作業により灯外内管を損傷し、復旧工事のため中間バルブを閉止し供給支障(61戸)が発生した。 |
| 1/29 | 大阪 | 排水工事 | LPガス | 0 | 病院において、排水工事業者が厨房改装工事のため床面に穴を開けていたところ、ホールソーで埋設配管を損傷。漏えいしたガスに何らかの火が引火し、火災となり、樹脂什器類が焼損した。原因は、排水工事業者が販売事業者への事前照会をせず、埋設配管に関する正確な情報がないまま工事を行い、誤って当該配管を損傷したものの。 |
| 2/6 | 愛媛 | 水道工事 | LPガス | 0 | 一般住宅において、消費者から「お湯が出なくなった」との連絡を受け、販売事業者が出動したところ、マイコンメーターがC表示(合計・増加流量遮断)で遮断しており、埋設配管が損傷していることを確認した。原因は、水道工事業者が消費者宅の下水管工事の際に、ユニボにより誤って埋設配管を損傷し、損傷部分からガスが漏えいしたものの。 |
| 2/7 | 京都 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(解体工事業者)が掘削機で灯外内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路(東西道路:幅員4.0m、延長25m)の交通規制(40分)を実施した。 |
| 2/15 | 大阪 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(解体工事業者)が掘削機で灯外内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路(南北道路:幅員6.0m、延長80m)の交通規制及び避難(1名)を実施(22分)した。 |
| 2/19 | 京都 | 地盤改良工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(地盤改良工事業者)がアースオーガーでボーリング作業時に灯外内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路(南北道路:幅員5.0m、延長120m)の交通規制(45分)を実施した。 |
| 2/19 | 大阪 | 宅地造成工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(宅地造成業者)が掘削機で灯外内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路(南北道路:幅員3.2m、延長13.8m、東西道路:幅員3.8m、延長30m)の交通規制(60分)を実施した。 |
| 2/25 | 大阪 | 敷地整地工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(整地工事業者)が掘削機で灯外内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路(5道路:幅員3.3m~6.0m、総延長890m)の交通規制(53分)を実施した。 |
| 3/1 | 東京 | 住宅増築工事 | 都市ガス | 0 | ガス管を損傷し漏れたガスに着火したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、住宅の増改築において建設業者が鉄柱のボルト固定部分の穴をバーナーにて広げる作業を実施した際、工事に伴い露出した灯外内管(PE管30mm)がバーナーにより誤って焼損し、漏れたガスに着火し、当該住宅の外壁の一部及び屋外式給湯木の配管類の一部を焼損した。火災認定あり。 |
| 3/1 | 山形 | 駐車場設置工事 | 都市ガス | 0 | 建築工事業者が駐車場工事の際、敷地内の残土撤去中または塀の基礎撤去時に建設機械で供給管を破損した。消防にて付近道路の交通規制(3時間)を実施した。 |
| 3/6 | 兵庫 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 需要家から「パチンコ店の2階を解体工事中に天井を落としたらガスが噴出した。」との通報を受け、ガス事業者が緊急出動。消防にて店内の客・店員を避難誘導(約70名、1時間22分)した。解体工事業者が解体作業中に、重機のグラブにより天井内の灯外内管を引っ掛け継ぎ手部を破損したことによるもの。 |
| 3/15 | 埼玉 | 下水工事 | 都市ガス | 0 | 下水工事の際、掘削中に道路に埋設された低圧支管(プラスチック被覆鋼管50mm)を損傷し、ガスが噴出したことによりガス圧力が低下して供給支障(72戸、1時間51分)が発生した。 |

| 発生日 | 都道府県 | 工事 | ガス | 人的被害 | 事故概要 |
|------|------|--------|------|------|---|
| 3/15 | 東京 | 整地工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(建築工事業者)が整地工事に伴う掘削作業中、建設機械にて灯外内管(25mm)を誤って損傷しガスが漏えいした。消防にて付近道路(幅員6.0m、延長90m)を交通規制(1時間)した。 |
| 3/17 | 大阪 | 植木設置工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(ホテル従業員)がコンクリートカッターで灯外内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にてホテル従業員・近隣住民7名の避難及び周辺道路(南北道路:幅員5.5mm、延長110m)の交通規制(1時間27分)を実施した。 |
| 3/19 | 山口 | 水道工事 | LPガス | 0 | 福祉施設において、水道工事業者がスプリンクラー設備工事中に誤って天井内の配管を損傷し、ガスが漏えいしたため、容器バルブを閉止した。 原因は、水道工事業者が販売事業者に対して事前に配管位置の照会をせずに行い、誤ってガスの配管を切断したものの。 なお、施設の管理者からも、販売事業者に対して工事を実施する旨の連絡は無かった。 |
| 3/19 | 神奈川 | 地盤改良工事 | 都市ガス | 0 | 地盤改良工事に伴うボーリング作業中、誤って低圧支管(ポリエチレン被覆鋼管80mm)を損傷しガスが漏えいした。消防にて付近道路(幅員約2.8m、延長約30m)を交通規制(1時間7分)した。 |
| 3/19 | 大阪 | 解体工事中 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(解体工事業者)がエンジンカッターで灯外内管を破損し漏れたガスに引火した。ブルーシートの一部を焼損。火災認定あり。 |
| 3/26 | 宮城 | 改装工事 | LPガス | 0 | 改装中の店舗において、改装工事業者が給水工事のためにコンクリート床をカッターで切断中、誤って埋設されていた配管を切断し、ガスが漏えいした。 原因は、建物の大家及び改装工事業者が販売事業者へ事前にガス配管の埋設状況を確認せず工事をしたため、誤って埋設管を切断したものの。 なお、当該店舗へガスは供給されておらず、店舗の上は共同住宅となっており、埋設されていたガス配管は共同住宅へガスを供給するためのものであった。 |
| 3/29 | 東京 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(解体工事業者)より解体工事中、建設機械にてガス管を持ち上げたとの連絡を受け確認したところ、灯外内管(40mm)と水道管を建設機械で誤って損傷したため、水道水がガス管に流入し供給支障(209戸、48時間40分)が発生した。 |
| 3/29 | 大阪 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(解体工事業者)が掘削機で灯外内管を破損。この影響により道路部の供給管が亀裂し、ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路(幅員4.0m、総延長30m)の交通規制(2時間16分)を実施した。また、向い宅の玄関でガス検査反応があったため、住民(1名)を避難誘導した。 |
| 4/1 | 兵庫 | 水道工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(水道工事業者)がコンクリートカッターで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路(東西道路:幅員4.0mm、延長34m)の交通規制(1時間8分)を実施した。また、破損宅の住民1名が避難した。 |
| 4/3 | 京都 | 下水工事 | 都市ガス | 0 | 下水工事中にガス管を引っかけてガスが漏れているとの連絡があり、安全を考慮し特定製造所のバルブを閉止した。供給支障93戸(1時間50分)。 |
| 4/5 | 東京 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者が解体工事中、整地工事に伴う掘削作業の際に建設機械にて誤って灯外内管(25mm)を引っ掛け、車道に埋設されていた供給管(25mm)を損傷した。消防にて付近道路(区道(幅員6.0m、延長70m)を1時間30分、区道(幅員12.0m、延長153m)を9分)の交通規制を実施した。 |
| 4/5 | 福岡 | 水道工事 | 都市ガス | 0 | 集合建物の複数の需要家より「ガスが出ない」との通報が入るとともに、設備工事業者より給湯器取付工事の際、ガス管と水道管を間違えて接続しガス管に水を入れてしまったとの通報を受けた。当社社員が出動し、ガス管に水が流入したこと並びに被害拡大防止のため、引込管ガス遮断バルブを閉止したことにより、集合建物1棟の36戸の供給支障が発生した。 |

| 発生日 | 都道府県 | 工事 | ガス | 人的被害 | 事故概要 |
|------|------|-------------|------|------|--|
| 4/7 | 東京 | 駐車場改修工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(建設工事業者)がマンション駐車場改修工事に伴うコンクリートカッター作業により、敷地内に埋設されていた灯外内管(50mm)を損傷した。ガス管損傷の連絡を受けた建物管理者が、引込管ガス遮断装置を閉止した結果、供給支障(134戸、3時間23分)が発生した。 |
| 4/10 | 和歌山 | 道路工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(道路工事業者)がH鋼挿入時に本支管を破損。ガスが漏えいしたため、警察にて付近住民(2名)及び業者(2名)の避難、周辺道路(南北道路、幅員4.0m、延長80m)の交通規制(1時間5分)を実施した。 |
| 4/17 | 神奈川 | 整地工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者が整地工事作業の際、建設機械にて誤って灯外内管(20mm)を損傷した。消防にて付近道路(幅員約3.5m、延長約150m)の交通規制(53分)を実施した。 |
| 4/22 | 東京 | 改修工事 | 都市ガス | 0 | 水道工事業者が水道管の更新工事に伴うコンクリートのコア抜き作業によって、建物8階のコンクリート部に埋設された灯外内管(25mm)を損傷した。安全面からガス事業者が引込管ガス遮断装置を閉止し、供給支障(32戸)が発生(5時間10分)した。 |
| 4/24 | 大阪 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(解体工事業者)が掘削機で支管を破損。この影響により供給支障(67戸)が発生した。 |
| 4/28 | 東京 | 改装工事 | 都市ガス | 0 | ビル管理者より緊急ガス遮断装置が作動したとの通報を受け、現場調査したところ、機械室に設置してある緊急ガス遮断装置の感震器にビル改修作業員の体が触れ、その衝撃により遮断弁が作動し、41戸の供給支障(支障時間2時間32分)が発生したことを確認。 |
| 5/9 | 北海道 | 建設工事業者の作業ミス | LPガス | 0 | 共同住宅において、近隣住人からガスが漏えいしているようだとの通報を市役所と消防が受け、販売事業者が出動したところ、埋設供給管からガスの漏えいを確認した。原因は、過去に当該共同住宅の駐車場において車両区画用の鉄製ポールを打ち込んだ際、当該ポールにより埋設供給管の防食用被覆が損傷されたため、損傷部分の腐食が促進されたことで穿孔が生じ、当該穿孔部分からガスが漏えいしたものの。 |
| 5/10 | 兵庫 | 電柱設置工事 | 都市ガス | 0 | 他工事(建柱工事業者)がブレーカーで供給管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路(南北道路:幅員7.0m、延長25m)の交通規制(29分)を実施した。 |
| 5/16 | 京都 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(解体工事業者)がサンダーで灯外内管を破損。漏れたガスにサンダーの火花が引火し火災に至った。消防にて周辺道路(東西道路、幅員11.6m、延長30m)の交通規制(2時間19分)を実施した。火災認定あり。 |
| 5/21 | 兵庫 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(解体工事業者)が掘削機で灯外内管を破損。消防にて周辺道路(南北道路:幅員6.5m、延長55m、東西道路:幅員4.0m、延長35m)の交通規制(20分)を実施した。火災認定あり。 |
| 5/26 | 東京 | 改修工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(改装工事業者)がマンション1階店舗改修工事中、コンクリートカッター作業によって灯外内管(80mm)を損傷した。ガス事業者が安全確保のため引込管ガス遮断装置を閉止し、供給支障(38戸、4時間46分)が発生した。 |
| 5/29 | 宮城 | 外構工事 | LPガス | 0 | 一般住宅において、外構工事業者が容器バルブの閉栓が不完全なまま高圧ホースを容器から取り外したことによりガスが漏えいした。原因は、容器が当該工事の支障となると考え、容器を一時的にずらそうと思い、販売事業者に相談等をせずに接続を外し、バルブの閉栓が不完全なまま放置したため。 |
| 5/31 | 埼玉 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(解体工事業者)が建物の解体工事の際に灯外内管(25mm)を損傷した。消防にて付近道路(市道:幅員5m×延長約50m、私道:幅員2.5m×延長約80m)の交通規制(1時間10分)を実施した。 |
| 6/4 | 石川 | 水道工事 | LPガス | 0 | 一般住宅前の道路において、水道工事業者が重機で掘削作業を行っていたところ、埋設配管を損傷し、ガスが漏えいした。原因は、水道設備工事業者が販売事業者への事前照会をしておらず、埋設配管の設置位置の確認を怠ったため、誤って当該供給管を損傷し、ガスが漏えいしたものの。 |

| 発生日 | 都道府県 | 工事 | ガス | 人的被害 | 事故概要 |
|------|------|---------|------|------|--|
| 6/4 | 愛知 | 汚水管修理工事 | 都市ガス | 0 | 集合住宅のトイレ床下の汚水管修理のため、コンクリートのコア抜き作業中に灯外内管(75mm)を損傷した。安全確保のため、ガス事業者が当該建物の引込管ガス遮断装置を閉止し、供給支障(117戸)が発生した。 |
| 6/8 | 広島 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者が建物解体工事中に灯外内管を損傷した。消防・警察にて付近道路(幅員8.0m、延長160m)の交通規制(3時間30分)を実施した。 |
| 6/9 | 福島 | 土木工事 | LPガス | 0 | 一般住宅前の隣地において掘削工事を実施していた工事業者が、電動丸鋸で誤って埋設容器を損傷し、ガスが漏えいした。原因は、工事業者が容器保護のため立てかけていたベニヤ板を他に利用するため、容器に立てかけたまま電動丸鋸による切断作業を実施したところ、誤って容器を損傷し、ガスが漏えいしたものの。 |
| 6/11 | 奈良 | 建物改修工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者(建物改装業者)がクラッシャーで灯外内管を破損。特装バルブを閉止したため、供給支障(100戸)が発生した。他工事業者とは事前協議をしていたが、その協議内容と異なり、日程を早めて着工し、立会いはなかった。 |
| 6/12 | 埼玉 | 電柱設置工事 | 都市ガス | 0 | 需要家よりガスが出ないとの連絡があり、ガス事業者が調査したところ、需要家の供給圧力低下を確認したためガス供給を遮断し、供給支障(72戸、124時間)が発生した。原因は、電柱設置工事業者が電柱の支線埋設時に支線用スクリュアアンカにてガス管を損傷し、その後の下水道工事による掘削の影響と大雨による地下水上昇によりガス管破損に至り差し水が発生したものと推定。 |
| 6/14 | 東京 | 車庫建設工事 | 都市ガス | 0 | 外構工事業者が車庫建設工事に伴うコンクリートはつり作業により、灯外内管(30mm)を損傷した。警察・消防により付近道路(市道 幅員5.5m、延長20m)の交通規制(44分)を実施した。 |
| 6/14 | 東京 | 門扉取替工事 | 都市ガス | 0 | 外溝工事業者が門扉取替工事に伴うコンクリートはつり作業中、電動ブレーカーにて灯外内管(25mm)を損傷した。警察・消防にて安全面から付近道路(区道 幅員4.0m、延長50m)の交通規制(7分)を実施した。 |
| 6/16 | 神奈川 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者が建物解体工事に伴い建設機械で誤ってガス管を引っかけて、埋設されていた供給管(25mm)を損傷した。消防にて安全面から付近道路(幅員4.4m、延長60m)の交通規制(1時間39分)を実施した。 |
| 6/20 | 宮崎 | 解体工事 | LPガス | 0 | 空き家において、解体工事業者が重機で埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいした。原因は、解体工事業者が販売事業者への事前照会をしておらず、埋設供給管の位置を確認せずに掘削工事を行ったため、誤って重機で当該供給管を損傷し、ガスが漏えいしたものの。 |
| 6/20 | 東京 | 樹木伐採工事 | 都市ガス | 0 | 樹木伐採業者が樹木伐採工事中に掘削機械にて誤って灯外内管(25mm)を損傷した。消防にて安全面から付近道路(幅員4.0m、延長48m)の交通規制(1時間33分)を行った。 |
| 6/21 | 埼玉 | 下水道工事 | 都市ガス | 0 | 下水道工事業者が下水道設備の新設工事に伴うコンクリートはつり作業の際に、電動ブレーカーで誤って灯外内管(30mm)を損傷し、コンクリートはつり作業の際に発生した火花が漏れたガスに着火した。火災認定あり。 |
| 6/25 | 北海道 | 改修工事 | 都市ガス | 0 | 建設工事業者が建物1階テナント改修工事に伴い、設備配管のために床スラブに穴開けを行ったところ灯外内管を損傷した。消防にて当該建物入居者(22名、51分)の避難指示及び前面道路(延長100m)の交通規制(1時間20分)を実施した。 |
| 7/9 | 広島 | 下水道工事 | 都市ガス | 0 | 設備工事業者が下水道工事中に灯外内管(32mm)を破損した。消防・警察で付近道路(幅員10.5m、延長160m)の交通規制(45分)を実施した。 |
| 7/15 | 北海道 | 排水施工工事 | 都市ガス | 0 | 排水施工業者(A事業者)から電動ピックを使用中突然火が付いたと連絡があり、ガス事業者が緊急出動したところ、折損した灯外内管を確認した。原因は、別のB事業者が根掘作業を行った際に灯外内管を折損し、当該A事業者が電動ピックを使用したところ、漏えいしたガスに着火したものの。 |

| 発生日 | 都道府県 | 工事 | ガス | 人的被害 | 事故概要 |
|------|------|---------|------|------|--|
| 7/21 | 大阪 | 電柱設置工事 | 都市ガス | 0 | 他工事(建柱工事業者)がオーガーで支管破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路(南北道路:幅員12.0m、延長50m)の交通規制(2時間52分)を実施した。事前試掘(深さ1.5m)を依頼していたが、多幸業者で試掘した際、1.35mのところまで木の根が出たので、これより下にガス管はないと誤認し、工事にかかり支管を破損したものの。 |
| 7/22 | 神奈川 | 宅地造成工事 | 都市ガス | 0 | 建築工事業者が宅地造成工事の際に建設機械にて灯外内管(30mm)を誤って損傷した。消防にて付近道路(幅員4.2m、延長280m)の交通規制(35分)を実施した。 |
| 8/1 | 千葉 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者が建物の解体工事の仮囲い作業の際、囲い用の鉄製短管パイプを打ち込み低圧供給管(50mm)を損傷した。安全確保のため、ガス事業者にてガス遮断装置を閉止したことにより供給支障(31戸、3時間50分)が発生した。 |
| 8/2 | 東京 | 整地工事 | 都市ガス | 0 | 外構工事業者が敷地内(駐車場)工事の整地作業中に建設機械の荷重により地中の灯外内管(32mm)が折損しガスが漏えいした。消防にて付近道路(幅員3.8m、延長80m)の交通規制(47分)を実施した。 |
| 8/4 | 宮城 | 駐車場工事 | 都市ガス | 0 | 市消防局より敷地内ガス管の破損事故発生の連絡があり出動したところ、カーポート工事中に電動ピックにて灯外内管(25mm)を破損したことを確認した。消防・警察にて付近道路(延長130m)の交通規制(80分)を行った。 |
| 8/18 | 東京 | 水道管改修工事 | 都市ガス | 0 | 水道工事業者がマンション水道管改修工事に伴うコンクリートカッター作業時に、誤って灯外内管(50mm)を損傷し、漏れたガスに引火し付近駐車中のバイク前輪部の一部が熱影響により変形していることが確認された。 |
| 8/29 | 福島 | 水道工事 | LPガス | 0 | 団地内において、水道工事業者が水道配管の改修工事中、誤って重機で埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいした。 |
| 9/1 | 京都 | 水道工事 | 都市ガス | 0 | 他工事(水道工事業者)がユンボで供給管継ぎ手部を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路(東西道路:幅員10.0m、延長70m)の交通規制及び避難(4名)を実施(52分)した。 |
| 9/2 | 茨城 | 道路工事 | 都市ガス | 0 | 水道管入替工事の際の道路掘削中に誤ってガス管を引っかけてガス漏れが発生した。安全確保のため特定製造所内の元バルブを閉止し供給支障(66戸、3時間35分)が発生した。 |
| 9/2 | 兵庫 | 水道工事 | 都市ガス | 0 | 他工事(水道工事業者)がカッターで供給管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路(東西道路:幅員5.0m、延長130m、南北道路:幅員6.9m、延長80m)の交通規制(40分)を実施した。 |
| 9/3 | 埼玉 | 土木工事 | LPガス | 0 | 一般住宅跡地において、土木工事業者が重機で掘削作業を行っていたところ、埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいした。 |
| 9/5 | 大阪 | 建築工事 | 都市ガス | 0 | 他工事(建築工事業者)が掘削機で灯外内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路(東西道路:幅員9.0m、延長52m)の交通規制(40分)を実施した。 |
| 9/7 | 東京 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者が解体工事中、電動ピックにより灯外内管(32mm)を損傷した。消防にて付近道路(幅員8.0m、延長70m)の交通規制(37分)を行った。 |
| 9/11 | 埼玉県 | 水道工事 | 都市ガス | 0 | 水道工事業者が水道管理設工事中に掘削機にて誤って本支管(50mm)を損傷した。消防にて付近道路(幅員6m、延長190m)の交通規制(1時間56分)及び周辺住民の避難誘導(27名、57分)を実施した。 |
| 9/12 | 東京都 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者が解体工事中掘削機にて誤ってガス管(150mm)を損傷しガスが漏えいした。消防にて安全面から周辺道路(幅員6m、延長220m)の交通規制(57分)を行った。 |
| 9/12 | 東京都 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者が解体工事中建設機にて誤って不使用灯外内管(50mm)を損傷しガスが漏えいした。消防にて安全面から周辺道路(幅員7m、延長43m)の交通規制(2時間40分)を行った。 |
| 9/13 | 大阪府 | 外壁工事 | 都市ガス | 0 | リフォーム工事業者が外壁工事中ドリルで灯外内管(8mm)を破損しガスが漏えいした。消防にて周辺道路(幅員4.3m、延長127.5m)の交通規制(8分)を実施した。 |
| 9/25 | 山口 | 水道工事 | LPガス | 0 | 店舗において、水道工事業者が床下の水道管工事のため、床を切断したところ、誤って埋設配管を損傷し、ガスが漏えいした。 |

| 発生日 | 都道府県 | 工事 | ガス | 人的被害 | 事故概要 |
|-------|------|--------|------|------|--|
| 9/25 | 大阪府 | 水道工事 | 都市ガス | 0 | 水道工業者が水道工事中、楠崎期にて不使用供給管を誤って破損しガスが漏えいした。消防にて周辺道路(幅員7.5m、延長115m)の交通規制(2時間15分)を実施。 |
| 9/30 | 新潟県 | 道路舗装工事 | 都市ガス | 0 | 他工業者が県道舗装修繕作業中に誤って舗装カッターで埋設ガス管を損傷しガスが漏えいした。消防・警察にて安全面から周辺道路(約400m)の交通規制(80分)を実施。 |
| 10/7 | 埼玉県 | 水道工事 | 都市ガス | 0 | 水道工業者が水道本復旧工事中に舗装カッター施工により誤って供給管(50mm)を損傷した。消防にて前面道路(幅員6m、延長約80m)の交通規制(37分)を実施した。 |
| 10/11 | 東京都 | 道路工事 | 都市ガス | 0 | 建設業者が再開発に伴う道路工事中建築機械(オーガ)にて誤って本支管(150mm)を損傷しガスが漏えいした。消防にて安全面から周辺道路(幅員6.0m、延長100m)の交通規制(55分)を実施。 |
| 10/15 | 山梨県 | 水道工事 | 都市ガス | 0 | 水道工業者が下水道工事中にガス管(50mm)を折損したため、製造所にてガス供給を停止し供給支障(81戸)が発生した。 |
| 10/20 | 北海道 | 基礎工事 | 都市ガス | 0 | 建築業者が新築基礎工事中に不使用の引込ガス管を引っ張り、供給管取り出し部が損傷しガスが漏えいした。警察・消防により避難指示(5名)及び交通規制(42分)を実施。 |
| 10/23 | 東京 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 消防から工事現場の付近でガス臭気がある旨の通報を受け付け、調査したところ当該敷地内に埋設されていた灯外内管からの漏えいであることを確認した。 また、消防により付近住民計2名の屋外への避難誘導並びに付近道路(市道;125m)の交通規制が行われていることを確認した。 |
| 10/24 | 青森県 | 水道工事 | 都市ガス | 1 | 水道設備業者が誤ってガス管(灯外内管)を損傷させガスが漏えいし、掘削機の火花が引火し火災が発生した。工事者1名が負傷し、住宅外壁の一部を焦がした。 |
| 10/25 | 神奈川県 | 下水工事 | 都市ガス | 0 | 下水工業者が敷地内で下水工事中に誤ってコンクリートカッターで灯外内管(ポリエチレン被覆鋼管25mm)を損傷しガスが漏えいした。消防にて周辺道路(市道;幅員5.0m×延長約100m)の交通規制(75分間)を実施。 |
| 10/31 | 神奈川県 | 水道工事 | 都市ガス | 0 | 水道工事会社が漏水工事中に供給管(30mm)に穴を明けガスが漏えいした。ガス臭気があったため、消防にて周辺道路(幅員6m、延長約90m)の交通規制(1時間33分)を行った。 |
| 11/6 | 佐賀 | 水道工事 | LPガス | 0 | 共同住宅において、水道工業者が洗面所の給水管を移設するため古い給水管を取り除こうとしたところ、誤って電気グラインダーにより供給管を切断したため、漏えいしたガスに引火し、床下及び壁の一部を焼損した。 原因は、水道工業者が販売事業者に対して供給管の設置位置を事前確認せずに作業を行い、電気グラインダーにより誤って供給管を切断したため、損傷部分からガスが漏えいし、漏えいしたガスに電気グラインダーの火花が引火したものの。 |
| 11/6 | 埼玉 | 改装工事 | 都市ガス | 0 | 家主から依頼された古物商が、午前中ガス給湯器風呂釜を外した際にガスメーター立管も取外してしまった。同人は気付かないまま、同現場から帰ったことが原因でガス漏えいになった。 |

| 発生日 | 都道府県 | 工事 | ガス | 人的被害 | 事故概要 |
|-------|------|-------|------|------|--|
| 11/8 | 千葉 | 掘削工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者より、リフォームに伴う排水管増設工事中、削岩機にて誤ってガス管を折損したとの連絡を受け、ガス事業者が出動。現場到着時、他工事業者より直接連絡を受け出動した消防・警察により、周辺道路の交通規制を行った。 |
| 11/8 | 大阪 | 下水道工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者（下水道工事業者）がブレーカーで灯外内管破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路（東西道路：幅員4.0m、延長34m）の交通規制を20分間実施した。人損・物損は他工事業者より、コンクリートコア抜き作業にて誤ってガス管を損傷したとの通報を受け、ガス事業者が出動したところ、ガス臭気を確認したため引き込み管ガス遮断装置閉止したことにより71件の供給支障が発生した。 |
| 11/12 | 東京 | 建設工事 | 都市ガス | 0 | 一般住宅において、建設工事業者が庭の改修工事の際に掘削作業を行っていたところ、重機で埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、建設工事業者が販売業者に埋設供給管の設置位置を事前確認せずに掘削を行ったこと、また、当該住宅はオール電化住宅であったことから、建設工事業者はガスの供給管が使用されていないと勘違いし、誤って重機により埋設供給管を損傷し、損傷部分からガスが漏えいしたもの。 (バルク貯槽 980kg×1基) |
| 11/20 | 兵庫 | 建設工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者（建築工事業者）がカッターで供給管破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路（南北道路：幅員15.0m、延長80m）の交通規制を21分間実施した。 |
| 11/21 | 千葉 | 建設工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者より、建築現場で基礎工事中にガス臭気がしたとの通報がありガス事業者が出動。現場到着時付近にてガス臭気を確認したため、消防に出動要請し、消防にて安全面から交通規制を実施した。 |
| 11/26 | 山形 | 外溝工事 | 都市ガス | 0 | 消防より、保育園前にてガス臭いとの通報を受け、出動したところ、供給管付近の路面に舗装切断の跡があり、切断溝よりガスが噴出していた。 現場到着時には既に警察・消防が到着しており、警察により交通規制が行われていた。損傷部の応急処置を行い、ガス噴出止め後、交通規制を解除した。 |
| 12/2 | 東京 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者から、ガス臭いとの通報を受け、ガス事業者が現場に出動。安全面から消防にて前面道路の交通規制を実施した。 原因は、解体工事中の建設機械による灯外内管25mmガス管 |
| 12/6 | 埼玉 | 外溝工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者より、ガス管を損傷したとの通報を受け、ガス事業者が出動、現場到着時、路面カッターにてガス管を損傷したことを確認した。尚、安全確保の為消防に出動を要請、消防にて交通規制を実施した。 |
| 12/17 | 奈良 | 改装工事 | LPガス | 0 | 一般住宅において、リフォーム工事業者の作業員がリフォーム工事の際、閉止中の供給管立上り部をディスクグラインダーで切断しようとしたところ、火災が発生し、近くにあったエアコン室外機のカバーの一部を焼損した。 原因は、リフォーム工事の監督者と作業者の間でガス供給管について情報共有がなされておらず、作業員が切断する供給管をガスの供給管であると認識しないまま、ディスクグラインダーでガス供給管を切断したため、漏えいしたガスにディスクグラインダーの切断の際に出た火花が引火したもの。 なお、当該一般住宅はオール電化住宅であり、ガスメーター等の供給設備は撤去されているが、埋設供給管及び立上り部は残存しており、立上り部の先端はプラグ止めされていた。また、作業員はエクステリア工事を専門としており、LPガスや配管についての知識・認識が乏しかった。 |
| 12/18 | 京都 | 掘削工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者（衛生工事業者）がカッターで灯外内管を破損し、応急措置不可のため、サービスバルブ閉止したため、57戸の供給支障が発生した。 |
| 12/20 | 東京 | 建設工事 | 都市ガス | 0 | 消防より外装工事中にガス管を損傷したとの通報を受け、ガス事業者が出動したところ、安全面から消防にて前面道路の交通規制を行っていたことを確認した。 原因は建物外装工事中の建設機械による灯外内管の損傷によるもの。 |

| 発生日 | 都道府県 | 工事 | ガス | 人的被害 | 事故概要 |
|-------|------|------|------|------|---|
| 12/30 | 長野 | 除雪作業 | LPガス | 3 | <p>一般住宅において、除雪業者が除雪作業を行った際に、重機でバルク貯槽を損傷したため、ガスが漏えいし、火災となり、消費者1名及び除雪業者2名が重傷を負い、家屋等が焼損した。</p> <p>原因は、積雪によりバルク貯槽が隠れていたことから、除雪業者はバルク貯槽の存在に気付かず、重機で誤ってプロテクター内の安全弁及び液受入弁を損傷したためガスが漏えいし、消費者宅の玄関につながる廊下で使用されていたストーブの火が漏えいしたガスに引火したものと推定される。</p> <p>なお、除雪業者は道路から玄関までの除雪を依頼されていたが、その奥にあるバルク貯槽付近の除雪を行っていた。</p> <p>(バルク貯槽 298kg × 1基)</p> |

平成27年の建設工事等におけるガス損傷事故
(平成27年11月末現在)

※速報のため、内容が変わる可能性があります。

| 発生日 | 都道府県 | 工事 | ガス | 人的被害 | 事故概要 |
|------|------|------|------|------|---|
| 1/7 | 神奈川 | 解体工事 | LPガス | 0 | 解体事業者から建物解体作業中に重機等によって導管(灯外内管)を損傷したため「ガス漏えいが発生」との通報を(続けて消防より)受け、当該社員1名が14時50分頃現場に到着。既に消防隊員によって当該製造所のガス発生設備の運転を全て停止していた。 |
| 1/10 | 東京 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 警察から、当該現場付近にて強いガス臭気がある旨の通報を受け付けた。当社が出動したところ、解体工事現場にてガス管(灯外内管:25mm)が2箇所損傷しており、その内1箇所にはタオルが詰め込まれていることを確認した。 また、警察による付近道路の(区道:70m)の交通規制の実施を確認した。 |
| 1/10 | 東京 | 水道工事 | 都市ガス | 0 | 水道工事業者から、工事中にガス管を損傷した旨の通報を受け付けた。当社が出動したところ、水道工事業者が行った当該建物7階の床部分のコンクリートのコア抜き作業によって、コンクリート部分に埋設設置されていたガス管(灯外内管:25mm)が損傷していることを確認した。(未照会工事)なお、当社は建物内にてガスの滞留を確認したことから、安全確保のために消防へ出動要請し、到着した消防により、当該建物内の居住者計15名を屋外へ避難誘導するとともに付近道路(区道:計160m)の交通規制が実施された。 |
| 1/10 | 大阪 | 土質調査 | 都市ガス | 0 | 土質調査業者より「土質調査時のボーリング工事中に臭気有り」で受付、緊急出動。保安担当部署担当者到着時、ボーリング箇所付近にて臭気有り。地中埋設部の破損のため応急措置が困難と判断し、当社より消防へ出動要請。消防到着後、交通規制実施(避難なし)。ポリエチレン管30mmの灯外内管(不使用管:埋設深さ46cm)の管体部の破損を確認、粘土テープ巻きにて応急措置実施。上流側にてスクイズオフを行い、付近の漏えい調査で異常無しを確認後、交通規制を解除した。 |
| 1/12 | 秋田 | 除雪作業 | LPガス | 0 | 一般住宅において、消費者より「火事でLPガスが燃えている」との連絡を受け、販売事業者が出動したところ、容器の設置場所である物置小屋の火は消防により鎮火しており、煙が上がっている状態であった。 原因は、除雪業者が、容器の周辺に雪を下ろしたため、荷重により容器に直付けされた自動切替式調整器の接続部が損傷し、漏えいしたガスに2.5m離れたボイラー室の灯油ボイラーの火が引火したものと推定される。 なお、ガス容器からボイラー室までのコンクリート上には、融雪用の散水がされており、漏えいしたガスが融雪した部分を通ってボイラー室に流入し、ボイラーの火が引火した可能性が考えられる。また、事故発生時、消費者は2回の爆発音を聞いていることから、漏えいしたガスが、2.5m離れたボイラー室の灯油ボイラーに着火し1回目の爆発、さらに、爆発時の炎が容器周辺に滞留したガスに引火、2回目の爆発となり火災に至ったものと推定される。 |
| 1/13 | 神奈川 | 解体工事 | LPガス | 0 | 1月13日、14:42建物解体中にガス管を破損し火災が発生していると消防署から通報が入る。現場を確認したところ損傷したガス管に着火しており消防署が延焼防止措置をしていた。火災現場は消防署が立ち入り規制しており、また特定製造所付近で発生した火災のためガスを遮断するための導管バルブが無い場所であった。 16時58分、消防署からの要請もあり、隣接住宅への延焼防止並びに保安確保の目的で特定製造所内のバルブを閉止してガス供給を停止し、584件が供給支障に至った。 |

| | | | | | |
|------|----|------|------|---|---|
| 1/19 | 岡山 | 建設工事 | LPガス | 0 | <p>空き地において、建設工事業者から「掘削工事中にガスが漏えいした」との連絡を受け、販売事業者が出動したところ、埋設されているPE管(25A)が損傷していることを確認した。</p> <p>原因は、建設工事業者が、ガス管の埋設位置を販売事業者に事前に照会することなく掘削工事を行ったため、ガス管が埋設されていることを認識しておらず、深さ1500mmに埋設されたPE管にバケットを接触させ損傷したものの。</p> <p>なお、建設が予定されている建物には、埋設管を敷設した販売事業者とは別の販売事業者がガスを供給する予定であったため、建設工事業者は埋設管が敷設されていることを認識していなかった。</p> |
| 1/28 | 奈良 | 改装工事 | 都市ガス | 0 | <p>改築業者より「床のコンクリートをカッター切り中、ガス管破損しガス噴出中。消防へも連絡済み。」との通報を受け緊急出動。到着時、警察による前面道路規制中(22:40より前面東西道路、歩道:幅5m×130m、車道片側:17m×130m)。及び消防による火気厳禁などの広報活動が実施されていた。</p> |
| 1/28 | 大阪 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | <p>解体工事業者より「ガス管破損した。臭気有り。」で受付け、緊急出動。当社より消防に出動要請を実施。現場到着時騒ぎ等なし。消防にて交通規制実施。(東西道路:幅員5.5m、延長300m)</p> <p>解体工事業者にヒアリングした結果、解体工事中に掘削機で立管を引き抜いたとのこと。</p> |
| 2/16 | 千葉 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | <p>消防から、解体工事中にガス漏れが発生した旨の通報を受付けた。当社が出動したところ、解体工事業者が行った建物の解体工事によって、当該敷地内に埋設されていたガス管(灯外内管:25mm)が損傷していることを確認した。また、当社が到着した際に、消防・警察による付近道路(市道;計146m)の交通規制が行われていることを確認した。</p> |
| 2/18 | 山口 | 外溝工事 | 都市ガス | 0 | <p>家主本人が外構工事中に敷地内のガス管(灯外内管)をサンダーで切断し漏出したガスに着火したため、水と泥をかけて消火した。</p> |
| 2/21 | 東京 | 水道工事 | LPガス | 0 | <p>共同住宅において、水道工事業者より「水道埋設管の差し替え工事中にラッシュハンマーでコンクリートを掘削した際、ガス供給管に穴をあけ、ガスが漏えいした」との連絡を受け、販売事業者が出動したところ、供給管が損傷していることを確認した。</p> <p>原因は、水道工事業者が、埋設されていた供給管に誤ってラッシュハンマーで穴を開けたため、供給管よりガスが漏えいしたものと推定される。</p> |
| 2/25 | 東京 | 道路工事 | 都市ガス | 0 | <p>道路管理者から、道路の空洞調査に伴うボーリング作業中に誤ってガス管を損傷したとの通報を受付け出動。現場確認の結果、低圧供給管がコアカッターにより損傷されていることを確認した。</p> <p>当社の要請により出動した消防・警察が安全確保のため、付近道路約270mの範囲を交通規制し、車輛の通行に支障をきたした。</p> |
| 2/26 | 山口 | 解体工事 | LPガス | 0 | <p>尿処理施設において、設備解体業者が、洗浄塔の解体中に塔の一部を落下させたため、露出ガス配管を損傷しガスが漏えいした。</p> <p>原因は、設備解体業者が作業の際、何らかの要因により解体した設備を落下させたため、露出ガス配管を損傷、ガスが漏えいしたものと推定される。</p> <p>なお、ガスが漏えいしたが、マイコンメーターにて自動遮断したため、負傷者及び火災は無かった。</p> |

| | | | | | |
|------|----|--------|------|---|--|
| 3/1 | 京都 | 改装工事 | 都市ガス | 0 | 店舗改修工事業者より「土間はつり中ガス管を破損、手当てできず」で受付け、緊急出動。消防にて西側工事店舗前の警戒区域設定。駅構内1F西側店舗改装中にガス管破損確認、サービスバルブを閉止(影響戸数2戸)。付近漏えい調査異常なし及び滞留なしを確認、店舗前警戒区域設定解除した。 |
| 3/6 | 佐賀 | 改装工事 | LPガス | 0 | 一般住宅に併設された店舗において、店舗改装工事業者が作業の妨げになることから末端ガス栓を外したところ、ガスが漏えいし、マイコンメーターが遮断した。その後、住宅内の燃焼器を使用した消費者より「ガスが使用出来ない」との連絡を受け、販売事業者が出動したところ、マイコンメーターが遮断していたため、復帰ボタンを操作した際、ガスの漏えい音がした。原因は、店舗改装工事業者がガスの供給を止めることなく末端ガス栓を外した際、ガスが漏えいし、マイコンメーターが遮断したものの。その後、消費者から連絡を受けた販売事業者がマイコンメーターを復帰させたため、再度ガスが漏えいしたものの。 |
| 3/6 | 東京 | 水道工事 | 都市ガス | 0 | 水道工事の際、掘削中に道路に埋設してある低圧支管を誤って損傷し、ガスが噴出したことによりガス圧力が低下し供給支障となったもの。 |
| 3/7 | 京都 | 改装工事 | 都市ガス | 0 | 道路舗装工事業者より「道路舗装工事中、カッターにてガス管破損。臭気有り」で受付け。緊急出動。現場到着時付近臭気有り、当社より消防出動要請。消防にて交通規制実施(東西道路:幅員:10.0m、延長150m)した。 |
| 3/10 | 埼玉 | 水道工事 | 都市ガス | 0 | 水道工事業者から、漏水修理工事に伴うボーリング調査中にガス管を損傷したとの通報を受付けた。当社が出動したところ、水道工事業者が行ったボーリング作業によって、敷地内に埋設されていたガス管(灯外内管:150mm)が損傷していることを確認した。 |
| 3/15 | 東京 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者から、解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受付けた。当社が出動したところ、店舗内の内装解体工事現場にてガス管(灯外内管:40mm)が損傷していることを確認した。また、当社は敷地内の下水枡内にてガスの滞留を確認したことから、安全確保のために消防へ出動要請し、到着した消防にて、付近道路の交通規制を実施した。 |
| 3/16 | 東京 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者から、解体工事に伴う浄化槽の撤去工事中にガス管を損傷したとの通報を受付けた。当社が出動したところ解体工事業者の従業員が敷地内の浄化槽撤去工事に伴う掘削作業の際、敷地内に埋設されていたガス管(灯外内管:25mm)を重機にて誤って引っかけた結果、車道に埋設されていたガス管(供給管:25mm)を損傷したことを確認した。又、当社は当該現場において強いガス臭気を確認したことから、安全確保のため消防へ出動要請し、到着した消防にて付近道路の交通規制を実施した。 |
| 3/17 | 大阪 | 舗装工事 | 都市ガス | 0 | 舗装工事業者より「舗装工事中臭気有り」で受付、緊急出動。他工事における舗装カッター切りでガス管を破損したことを確認し、手当てが出来ないため消防へ出動要請。消防到着及び交通規制開始(東西道路、幅7.3m(歩道1.3m車道)×長さ33m)。掘削し、支管50mm破損部を粘土・テープにて応急手当済。付近漏えい調査異常なしを確認後、消防による規制を解除した。 |
| 3/24 | 東京 | 消防設備点検 | 都市ガス | 0 | 消防設備点検業者から、緊急ガス遮断装置を誤って作動させたとの通報を受付けた。当社が出動したところ、緊急ガス遮断弁が閉止していることを確認した。 |

| | | | | | |
|------|----|------|------|---|---|
| 3/30 | 福岡 | 建設工事 | LPガス | 0 | <p>その他店舗において、建設工事業者が玄関扉の取替え工事中に、床のはつり作業を実施していたところ、埋設配管を損傷、マイコンメーターにより遮断しガスが停止した。</p> <p>原因は、建設工事業者が施工前に埋設配管の位置を確認していなかった為、誤って埋設管を損傷しガスが漏えいしたものの。</p> |
| 3/30 | 兵庫 | 建設工事 | 都市ガス | 0 | <p>協力工事会社より「電柱工事中、ガス管破損」で受付、緊急出動。現場到着時臭気有り。応急手当てできず、消防出動要請。消防到着し、交通規制開始。(南北道路:幅員7.0m、延長60m、東西道路:幅員7.0m、延長90m)</p> <p>粘土・テープ巻にて応急手当完了。付近滞留ガスなし及び漏えい調査異常なしを確認後、交通規制解除。</p> |
| 3/31 | 東京 | 改装工事 | 都市ガス | 0 | <p>改装工事業者から、ガス管を損傷し火災が発生した旨の通報を受付けた。当社が出動し、調査したところ、改装工事業者が行ったコンクリート研り作業によって、コンクリート床に埋設されていたガス管(灯外内管:40mm)が損傷し、漏えいしたガスに着火したが、改装工事業者により消火器にて消火済みであることを確認した。</p> <p>また、消防・警察により当該建物内の計23名の避難措置が行われるとともに、付近道路(区道、計40m)の交通規制が実施された。</p> |
| 4/3 | 東京 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | <p>解体工事業者から、建物解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受付けた。当社が出動したところ、敷地内に埋設されていたガス管(灯外内管:25mm)を重機にて損傷したことを確認した。</p> <p>また、当社は広範囲に臭気を確認したことから、安全確保のために消防へ出動要請し、到着した消防にて、付近道路の交通規制を実施した。</p> |
| 4/4 | 兵庫 | 舗装工事 | 都市ガス | 0 | <p>舗装工事業者より「給水工事に伴う道路面の舗装のカッター切りでガス管破損、噴出中、臭気大」で受付、緊急出動。当社より消防へ出動要請。当社保安担当者到着時、臭気有り、消防による交通規制及び避難(10名)を確認。</p> <p>当社保安担当者にて供給管32mm継手部のカッター切り破損を確認。粘土・テープ巻にて応急措置実施し、付近の滞留ガス調査結果異常なしを確認し、消防にて交通規制及び避難解除した。</p> |
| 4/6 | 山梨 | 建設工事 | LPガス | 0 | <p>団地内の駐車場増設に伴う事故。建設業者の下請けが監督不在中にバックホーで作業中、PE管に根が絡んだ状態のまま引き上げてしまい破断。当該箇所の工事は木々の伐採伐根から着手し、その際に起こした事故。発生は12時20分。下請け業者が監督に、監督から当社へ12時30分に連絡。当社社員が現場に駆けつけ、12時50分に特定製造所内のメインバルブにて緊急停止を実施した。その後、構内放送で住人に供給停止を伝え、現場周辺に火を近づけないよう、下請け業者とともに住人に呼びかけた。</p> |
| 4/16 | 兵庫 | 掘削工事 | 都市ガス | 0 | <p>消防より「通行人より道路臭気。消防出動中」で受付、緊急出動。現場到着時、消防にて交通規制実施済み(東西道路:幅員7.0m、延長100m)。調査の結果、25mm灯外内管継手部を掘削機にて破損し、粘土テープ巻にて応急処置済み。</p> <p>付近滞留ガスなし確認後、交通規制を解除した。</p> |
| 4/21 | 兵庫 | 掘削工事 | LPガス | 0 | <p>他工事業者(下水道工事会社)が、下水道本管取替作業中に掘削機にて、32Aガス管を破損させたことにより、ガスが漏えいした。</p> <p>他工事業者は、掘削機による舗装面の除去を行った際に、ガス管の位置が不明となったにも関わらず、掘削機による掘削作業を継続したために、破損事故に至った。</p> |

| | | | | | |
|------|-----|------|------|---|---|
| 4/22 | 大阪 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者より「解体工事中ガス管破損、応急措置できず臭気大」で受付。緊急出動するとともに消防に出動要請。現場到着時、消防にて交通規制及び周辺住民の避難広報を実施した。 |
| 4/29 | 滋賀 | 水道工事 | LPガス | 0 | 宅地において、水道工事業者より「ユンボで掘削したところ、埋設されていたガス配管を誤って損傷し、ガスが漏えいした」との通報を受け、販売事業者が調査したところ、埋設供給管からガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、水道工事業者が掘削中に、ユンボで供給管を損傷させたため、ガスが漏えいしたものと推定される。 なお、当該供給管は、建築を予定している戸建て住宅に集団供給するため敷設されていたものであり、先端はプラグ止めされており、工事日より約2ヶ月程前に、販売事業者と水道工事業者は、埋設管の位置等について現地確認を実施していたが、建築予定地に埋設管の表示は無かった。 |
| 5/7 | 東京 | 解体工事 | 都市ガス | 1 | 消防から、店舗解体工事中にガス管に着火したとの通報を受付けた。当社が出動したところ、解体工事業者が当該建物3階の改装に伴う解体工事におけるコンクリート研り作業の際、コンクリート床に埋設されていたガス管(灯外内管:40mm)を誤って損傷したことを確認した。また、その際に漏えいしたガスに着火し、作業者が負傷すると共に店舗内の天井・電気配線の一部焼損及び電気エアコンを焼損した。 |
| 5/9 | 東京 | 水道工事 | 都市ガス | 0 | 水道工事の施工者から、舗装カッター作業中に誤ってガス管を損傷したとの通報を受付け出動。現場確認の結果、低圧水取り器立管がカッターにより損傷していることを確認した。 当社の要請により出動した消防・警察が安全確保のため、付近道路約30mの範囲を交通規制し、車両の通行に支障をきたした。 |
| 5/10 | 東京 | 外溝工事 | LPガス | 0 | 住民が外溝工事の防草シートのくい打ちを行った際に、埋設管を破損させ、そこから漏えいしたと推定される。 |
| 5/15 | 沖縄 | 掘削工事 | LPガス | 0 | 建築工事業者が掘削作業においてガス本管(PE管)を重機にて折損した。 |
| 5/20 | 大阪 | 建設工事 | 都市ガス | 0 | 新築工事業者より「工事時破損、手当てなし臭気あり」と受け、緊急出動。新築工事業者より消防への出動を要請。漏えい検査異常なし及び付近滞留ガスなし確認後、交通規制解除した。 |
| 5/23 | 東京 | 水道工事 | 都市ガス | 2 | 消防から、ガス管から火が出ているとの通報を受付けた。当社が出動したところ、水道工事業者が水道管入替工事に伴う床壊し作業を行っていた際、コンクリートに埋設されているガス管(灯外内管:25mm)を電動工具で損傷したことを確認した。(未照会工事) また、当社が到着した際に消防・警察により付近道路(区道;約38m)の交通規制が行われていることを確認した。 |
| 5/25 | 北海道 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 通行人より「ガス臭い」と当社保安センターに入電があり、解体工事現場にてガス臭を確認。漏えい箇所の特定に時間を要する可能性があったため、当社より消防機関に出動要請を実施した。 その後、本管バルブの閉止による付近のガス遮断をおこない、初期保安措置を実施した。調査の結果、供給管継手部からの漏えいであることを確認した。 |

| | | | | | |
|------|-----|-------|------|---|---|
| 5/26 | 大阪 | 建設工事 | 都市ガス | 0 | 建築工事業者より「マンション敷地内の自転車置場設置工事時、コア抜き作業中にガス管破損、手当てできず」で受け、緊急出動。消防現場到着後、交通規制開始。(交通規制区間・北側東西道路:幅員4.2m、延長50m)共用内管(50mm被覆鋼管)継手部をコア抜きドリルにて破損)サービスバルブ閉止にて応急措置済み。付近漏えい検査異常なし、及び滞留ガスなし確認後に交通規制解除。 |
| 5/27 | 神奈川 | 下水道工事 | 都市ガス | 0 | 設備工事業者から連絡を受けた協力企業から、設備工事業者がコンクリート研り工事中にガス管を損傷したとの通報を受けた。当該設備工事業者が新築工事の污水配管工事に伴うコンクリート研り作業の際、埋設されていたガス管(灯外内管:30mm)を電動工具にて誤って損傷したことを確認した。また、当該設備工事業者の作業員は応急措置のため、損傷したガス管の周辺を更に研ろうとした。その際、漏えいしたガスに着火し、污水管の一部を焼損した。 |
| 5/28 | 埼玉 | 改装工事 | 都市ガス | 1 | リフォーム工事業者から、リフォーム工事中にガス管を損傷したとの通報を受けた。当社が出動したところ、リフォーム工事業者が取外し済のガスメーター1次側のガス管(灯外内管:25mm)を電動工具で損傷したことを確認した。また、その際に漏えいしたガスに着火し、リフォーム工事の作業員1名が負傷した。 |
| 6/1 | 神奈川 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者から、解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受けた。出動したところ解体工事業者の作業員が敷地内に埋設されていたガス管を重機にて誤って引っ掛けた結果、敷地内に埋設されていたガス管(灯外内管:32mm)並びに道路に埋設されていたガス管(供給管:25mm)を損傷したことを確認した。また、道路上マンホールにてガス検知器反応を確認したことから、安全確保のため消防へ出動を要請し、到着した消防が付近道路(国道:50m)の交通規制を実施した。 |
| 6/3 | 愛知 | 建築工事 | 都市ガス | 0 | 他工事業者が門扉の取り付け工事中に誤って灯外内管を損傷し、ガスが噴出したもの。噴出したガスが建物(幼稚園)内部に流入したため、当該建物内の園児及び職員(計49名)が避難した。なお周辺は、弊社からの要請、当該他工事業者からの通報を受けた消防により交通規制が行われた。 |
| 6/6 | 東京 | 下水道工事 | 都市ガス | 0 | 雨水枘設置工事の際、掘削中に道路に埋設してある低圧供給管を誤って損傷し、地下水がガス管内に流入して供給支障となった。 |
| 6/9 | 東京 | 掘削工事 | 都市ガス | 0 | 構内整備工事に伴う地盤改良工事の施工者から、シートパイル打設作業中に誤ってガス管を損傷したとの通報を受け出動。現場確認の結果、中圧本管がシートパイルにより損傷されている事を確認した。また、消防・警察が安全確保のため、付近道路約100m(南北道路約60m、東西道路約40m)の範囲を交通規制し、歩行者の往来並びに車輛の通行に支障をきたした。 |
| 6/9 | 京都 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者から「敷地内の解体工事時にガス管を破損。手当てができていない。」との通報を受け、当社より緊急出動、掘削機による不使用の灯外内管(25mm、塩化ビニルライニング鋼管:不明管)の管体部破損を確認した。また、消防にて交通規制を実施した。 |
| 6/10 | 神奈川 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者からガス管を損傷したとの通報を受けた。解体工事業者が当該敷地内の擁壁解体工事中に、ガスが通じているガス管(灯外内管:25mm)を誤って損傷したことを確認した。また、到着した消防により付近道路(市道:180m)の交通規制が実施された。 |

| | | | | | |
|------|-----|------|------|---|---|
| 6/12 | 神奈川 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者から、敷地内の解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受付けた。当社が出動したところ、解体工事業者が行った立体駐車場の解体作業によって、立体駐車場近傍に埋設設置されていたガス管(灯外内管;75mm)が損傷していることを確認した。 |
| 6/16 | 奈良 | 掘削工事 | 都市ガス | 0 | 協力工事会社から「調査現場付近で、ガス臭気あり。」との通報を受け、当社より緊急出動、掘削機による不使用供給管(32A:アスファルトジュート巻き鋼管;不使用管)の取出し部付近にて継手部破損を確認した。出動要請を受けた消防にて交通規制を実施した。 |
| 6/18 | 東京 | 水道工事 | 都市ガス | 0 | 水道工事の施工者から、水道管切断作業中に誤ってガス管を損傷したとの通報を受付け出動。現場確認の結果、中圧本管が切断用カッターにより損傷されていることを確認した。出動した消防・警察が安全確保のため、付近道路約200m(東西道路約100m、南北道路 約100m)の範囲を交通規制し、車輛の通行に支障をきたした。 |
| 6/20 | 福岡 | 改装工事 | LPガス | 1 | 約17年以上前にオール電化に切替わった住宅で、オール電化への移行時に需要家への説明と打ち合わせの上で閉栓作業(メーターガス栓の閉止、ガスメーター撤去、立管へのプラグ止め)を行い、閉栓エフの設置と需要家への活管残存の周知を行った。 今般このオール電化住宅において、リフォーム業者により需要家メーターが取り外してある状態の活管である灯外内管メーター立管の露出部を、電動カッターにて切断作業を行ったためガス漏えい、切断火花により着火し火災に至った。 |
| 6/23 | 大阪 | 解体工事 | LPガス | 0 | 解体中の一般住宅(空家)において、近隣の住宅内でガス警報器が鳴動したため、販売事業者が調査したところ、屋外の下水管において、ガスの滞留を検知したため消防に通報した。 原因は、前日の建物解体工事において、建物解体事業者が掘削中、敷地内に残されていた埋設供給管の立ち上がり管を重機で引き抜き、供給管及び供給管継手部分を損傷したため、漏えいしたガスが何らかの要因により下水管へ流入したものと推定される。 なお、当該住宅は、数年以上前に戸建て集団供給でLPガスを使用していたうちの戸であったが、都市ガスへの切替時にガスメーターのみが撤去され、埋設供給管立ち上がり管の先端がプラグ止めされた状態で残っていたため、建物解体業者は埋設供給管に気付いていなかった。 |
| 6/23 | 大阪 | 外構工事 | LPガス | 1 | 一般住宅において、付近の住民から火災の通報を受け、消防及び販売事業者が出動したところ、コンクリートと一緒に持ち上げられた供給管と住宅の一部が焼損し、外構工事業者1名が重症を負ったことを確認した。 原因は、外構工事業者がガレージ部分のコンクリート張り替えのため、重機でコンクリートを引きはがしたが、誤って埋設された供給管をコンクリートと一緒に持ち上げ損傷したため、ガスが漏えい、その後の応急処置をしようと、電動工具(電動式削岩機)で、供給管とコンクリートを引き離そうとしたことで、漏えいしたガスに引火し火災が発生したものと推定される。 なお、当該住宅はオール電化であったが、以前は戸建て集団供給でLPガスを使用しており、切替時にガスメーターが撤去され敷地内に埋設供給管のみ残されていたため、建物解体業者は埋設供給管に気付いていなかった。 |

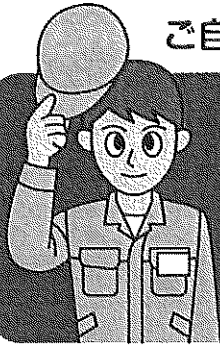
| | | | | | |
|------|-----|------|------|---|---|
| 7/3 | 愛知 | 改装工事 | LPガス | 0 | オール電化住宅のため平成21年にメーター及び灯外内管を撤去、撤去費用がかかる事、将来ガスの使用の可能性もある事から、了解をもらい、メーターとその周辺の配管のみ撤去し、地中からの立ち上がり配管はプラグ止めをした状態で残っていた。 今回リフォーム工事のため、工事業者がまだ残っていた灯外内管を切断し、ガスが漏えい、漏えいしたガスに引火し外壁の一部焦がしたが、工事業者によりすぐに火は消し止められる。 |
| 7/4 | 東京 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者からガス管を損傷したとの通報を受け、出動したところ、解体工事業者がガス管の貫通している土中埋設の基礎を重機にて引っ張り上げたことで敷地内に埋設されていたガス管(灯外内管;25mm)並びに車道に埋設されていたガス管(供給管;25mm)を損傷したことを確認した。また、到着した消防により付近道路(区道;35m)の交通規制が実施された。 |
| 7/4 | 京都 | 水道工事 | 都市ガス | 0 | 水道工事の事前掘削中に「誤ってガス管を持ち上げ、ガス臭がする」とのことで受付・出動。現場到着時、ガス臭気有り。100mm本管の管末部分を誤って重機で持ち上げたことで、土中部分での折損の可能性があったため、応急措置として管末部分よりガスバック挿入の上、漏出ガスを遮断した(管体露出なし、管末プラグ部分のみ露出)。同時に付近マンホール内への滞留ガス調査を行うも、直近数ヶ所のマンホール内にガス反応を検知したため、マンホール蓋の開放及び防爆排風ファンにより継続的に換気作業を実施した。 |
| 7/6 | 東京 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者から、ガス管を切ってガス臭いとの通報を受け、出動したところ、当該解体工事業者が建物2階の店舗改装に伴う解体工事中に、床上に設置されていた当該店舗に隣接する店舗用のガス管(灯外内管:25mm)を電動工具にて損傷したことを確認した。 また、消防及び警察による付近道路(区道;120m及び0m)の交通規制の実施、並びに当該建物の計31名の避難誘導が実施されていた。 |
| 7/8 | 東京 | 電気工事 | 都市ガス | 0 | 電気工事の施工者から、舗装カッター作業中に誤ってガス管を損傷したとの通報を受け、出動。現場確認の結果、低圧供給管がカッターにより損傷されている事を確認した。 出動した消防・警察が安全確保のため、付近道路約71m(国道歩道部 約11m、区道車道部 約60m)の範囲を交通規制し、歩行者の往来及び車両の通行に支障をきたした。 |
| 7/9 | 和歌山 | 掘削工事 | LPガス | 0 | 他工事業者から「造成工事現場で、ガス臭気あり」と通報を受け、和歌山支社より緊急出動。 掘削機による導管(敷地内:25A、塩化ビニルライニング鋼管)の破損を確認した。 消防にて交通規制を実施した。 |
| 7/9 | 東京 | 建設工事 | 都市ガス | 0 | 消防から街路灯取替え工事の施工者が基礎壊し作業中に誤ってガス管を損傷したとの通報を受け、出動。現場確認の結果、低圧支管が電動ブレーカーにより損傷されている事を確認した。 通報により出動した消防・警察が安全確保のため、付近道路約42mの範囲を交通規制し、車両の通行に支障をきたした。 |
| 7/10 | 神奈川 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者からガス管を損傷したとの通報を受け、出動したところ、解体工事業者が建物解体工事中に、重機にてガス管(灯外内管:25mm)を損傷したことを確認した。 また、現場に到着した消防により付近道路の交通規制が実施された。 |
| 7/12 | 東京 | 改装工事 | 都市ガス | 0 | リフォーム工事業者から台所キャビネット内より火が出たとの通報を受けた。出動したところ、ガスこんろを使用しようとした際に、漏えいしたガスに着火し、台所キャビネット内部の一部が焼損したことを確認した。 |

| | | | | | |
|------|-----|-------|------|---|--|
| 7/15 | 和歌山 | 水道工事 | 都市ガス | 1 | 消防より火災通報を受け緊急出動、他工事業者が水道工事中、電動ブレーカーによりコンクリート壊し作業を行っていたところ、誤って支管を損傷してガスが漏出し引火した。消防にて付近住民3名を避難誘導、及び現場周辺道路の交通規制を実施。付近滞留ガスなしを確認後、消防にて交通規制及び避難解除した。 |
| 7/16 | 東京 | 建設工事 | 都市ガス | 0 | 建築工事業者から掘削作業中にガス管を引き抜いたらガス臭いとの通報を受け、出動したところ、当該建築工事業者が敷地内での掘削作業中に重機にて埋設されていたガス管(灯外内管;25mm)を損傷したことを確認した。また、到着した消防により付近道路(区道;114m)の交通規制が実施された。 |
| 7/21 | 兵庫 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体業者から「ガソリンスタンド解体工事中、破損し手当てできず」との通報を受け、当社より緊急出動、灯外内管30mmポリエチレン管管体部の破損を確認した。当社社員にてバック挿入を行い応急処置実施。不使用管のため切断、プラグ止めにて復旧完了。消防にて交通規制を実施した。 |
| 7/24 | 大阪 | 舗装工事 | 都市ガス | 0 | 道路舗装工事業者から「舗装工事に伴うカッター切り中、ガス臭気有り。」との通報を受け、当社より緊急出動し、カッター切り工事中の供給管(25mm:アスファルトジュート巻き鋼管)破損を確認した。消防にて交通規制を実施した。 |
| 7/28 | 茨城 | 掘削工事 | 都市ガス | 0 | 消防から空き宅地でガス漏れしているとの通報を受け、出動し調査をしたところ、地主が空宅地の駐車場化工事を行っている際、バックホーでガス管(灯外内管:30mm)を損傷していたことを確認した。また、消防・警察による安全確保のため、付近道路約60mの範囲を交通規制していることを確認した。 |
| 7/29 | 大阪 | 掘削工事 | 都市ガス | 0 | 地盤改良工事業者から「造成地の地盤改良工事中ガス管破損ガス噴出あり。」との通報を受け、不使用の灯外内管(32mm、塩化ビニルライニング鋼管:不使用管)の管体部破損を確認した。 |
| 7/31 | 東京 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者からガス管を損傷したとの通報を受け、出動したところ、解体工事業者が解体工事作業中に、敷地内に埋設されていたガス管(灯外内管:25mm)を重機にて引っ掛けた結果、車道に埋設されていたガス管(供給管;25mm)を損傷したことを確認した。 |
| 8/1 | 佐賀 | 下水道工事 | LPガス | 0 | 下水道工事を実施していた業者がパワーショベル機で埋設してあるキーロン管を破損させた、工事業者は、直ちに販売店に連絡し、漏えい中のガスを止めた。 |
| 8/3 | 大阪 | 下水道工事 | 都市ガス | 2 | 排水業者から「敷地内で排水工事中にカッター切りにてガス管を破損。ガスが噴出している。」との通報を受け、出動したところ、応急手当をしようとした排水業者作業員が電動ブレーカーを使用した際、着火し負傷したことを確認した。 |
| 8/3 | 大阪 | 建設工事 | 都市ガス | 0 | 建築業者から「敷地内駐車場のはつり工事時にガス管を破損。手当てができない。」との通報を受け当社より緊急出動、灯外内管(25mm、塩化ビニルライニング鋼管)の管体部破損を確認した。 |
| 8/4 | 京都 | 建設工事 | 都市ガス | 0 | 耐震工事業者から「1F駐車場付近をはつり中にガス管を破損。破損部を土でかぶせた。」との通報を受け当社にて緊急出動、ブレーカーによる灯外内管(共用内管80mm、ポリエチレンライニング鋼管)の管体部破損を確認した。 |

| | | | | | |
|------|-----|-------|------|---|--|
| 8/6 | 大阪 | 建設工事 | 都市ガス | 0 | 建築工事業者から「カッター切りにてガス管を破損、臭気あり。」との通報を受け当社より緊急出動、灯外内管(32mm、アスファルトジュート巻き鋼管)の管体部破損を確認した。消防にて交通規制を実施した。 |
| 8/10 | 東京 | 改装工事 | 都市ガス | 0 | 改装工事業者から、ガス管を損傷したとの通報を受付け、出動したところ、当該改装工事業者が1階店舗改装工事中に、床に露出されていたガス管(灯外内管;32mm)を電動工具にて損傷したことを確認した。 また、消防・警察により付近道路の交通規制が実施されていることを確認した。 |
| 8/11 | 東京 | 建設工事 | 都市ガス | 0 | 建築工事の施工者から基礎工事中に誤ってガス管を損傷したとの通報を受付け出動。現場確認の結果、低圧支管が掘削機により損傷されている事を確認した。 出動した消防・警察が安全確保のため、付近道路約25mの範囲を交通規制し、車両の通行に支障をきたした。 |
| 8/18 | 大阪 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 協力工事会社から「敷地内解体工事中にガス管破損。」との通報を受け、不使用の灯外内管(15mm、アスファルトジュート巻き鋼管)の掘削機による破損を確認した。協力工事会社にて粘土・テープ巻きを行い応急措置を実施。消防にて交通規制を実施した。 |
| 8/19 | 東京 | 水道工事 | LPガス | 0 | 水道工事業者が埋設されていたLPガス管を重機で損傷しガスが漏えいした。 |
| 8/20 | 神奈川 | 建設工事 | 都市ガス | 0 | 電柱工事の施工者から、電柱支線工事時に誤ってガス管を損傷したとの通報を受付け出動。現場確認の結果、低圧支管がアースオーガーにより損傷されている事を確認した。 消防・警察が安全確保のため、付近道路約280mの範囲を交通規制し、車輛の通行に支障をきたした。 |
| 8/20 | 東京 | 水道工事 | 都市ガス | 0 | 水道工事の施工者から、シートパイル打設作業中に誤ってガス管を損傷したとの通報を受付け出動。現地調査の結果、低圧供給管がシートパイルにより損傷されており、ガスが噴出したことによりガス圧が低下し、マイコンメーターが作動している事を確認した。 安全確保のため、当社にて引込み管ガス遮断装置を閉止したことにより供給支障となったもの。 |
| 8/26 | 東京 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事業者から、解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受付けた。出動したところ解体工事業者が敷地内の整地作業の際、敷地境界近傍部にて切断済の埋設されていたガス管(灯外内管:32mm)を重機にて引掛けた結果、車道に埋設されていたガス管(供給管:32mm)を損傷したことを確認した。また、到着した消防にて付近道路の交通規制を実施した。 |
| 8/26 | 福岡 | 下水道工事 | 都市ガス | 0 | 下水側溝入替え工事のため既設側溝を取り壊し中、ガス本管200mmをコンクリート破碎機にて破損した。漏えいしたガスによる二次災害を防止するため出動した警察、消防により交通規制(歩車道全面通行止め)を実施した。 |
| 8/27 | 大阪 | 下水道工事 | 都市ガス | 0 | 協力工事会社から「下水工事中、掘削内にてガス臭気有り。」との通報を受け、当社より緊急出動し、下水推進工食用立杭築造工事(Lモール工法)にて供給管(30mm:ポリエチレン管)の破損を確認した。消防にて交通規制を実施した。 |
| 8/28 | 広島 | 掘削工事 | LPガス | 0 | 工事中にガス配管を切断。数分間、LPガスが漏えいした。現在漏えいは止まっている。 |

| | | | | | |
|-------|----|-------|------|---|--|
| 8/31 | 京都 | 建設工事 | 都市ガス | 0 | 警察から「新築工事現場でガス臭気あり。」との通報を受け、当社より緊急出動、灯外内管(30mm、ポリエチレン管)の継手部破損を確認した。また、消防にて交通規制を実施した。 |
| 9/8 | 大阪 | 解体工事 | 都市ガス | 0 | 解体工事会社から「解体工事中にガス管破損し着火した。」との通報を受け、当社緊急出動、不使用の灯外内管(25mm、アスファルトジュート巻き鋼管)の掘削機による破損を確認した。消防にて交通規制を実施した。 |
| 9/14 | 東京 | 建設工事 | 都市ガス | 0 | 再開発工事における覆工築造工事の施工者から、覆工内の臭気によるガス漏れ通報を受付け出動。現場確認の結果、低圧供給管が損傷されている事を確認した。 出動した消防・警察が安全確保のため、付近道路約260m(東西道路、ヤク130m、南北道路約130m)の範囲を交通規制し、歩行者の往来及び車輛の通行に支障をきたした。 |
| 9/15 | 大阪 | 下水道工事 | 都市ガス | 0 | 下水工事業者から「下水道工事中、カッター切りにてガス管破損。」との通報を受け、緊急出動、供給管(32mm、アスファルトジュート巻き鋼管)のカッター機による破損を確認した。消防にて交通規制を実施した。 |
| 9/16 | 宮城 | 外溝工事 | 都市ガス | 1 | 側溝の中に建っていた電話柱の抜柱工事(1週間前施工)後の側溝補修中、作業員が既設側溝をハンドピック(電動)にて破砕していたところ、側溝直下に埋設されていた供給管(境界プラグ止め済み)を破損。漏えいしたガスにコンクリートはつり時の火花又はハンドピックのモーター部の火花により着火し、当該作業員が鼻と頬に火傷を負った。 |
| 10/2 | 大阪 | 解体工事 | LPガス | 1 | 消費者が供給解除後の供給管をサンダーで切断し漏れたガスに火花が引火し顔面を火傷した。 |
| 10/13 | 埼玉 | 解体工事 | LPガス | 0 | 解体工事中、解体事業者が油圧ショベルで供給管を損傷させたため、ガス漏えいした。解体事業者が損傷した部分を折り曲げ、金具で巻いて漏えいを止めた。 |
| 11/7 | 富山 | 建設工事 | LPガス | 1 | 集団供給の住宅新築工事現場で、バルク貯槽からの供給管を下水道工事業者が破損し、ガスを止めようとして掘削穴に入った作業員が低酸素脳症のため死亡した。 |
| 11/7 | 京都 | 下水道工事 | LPガス | 0 | 団地の下水道工事に当たり、掘削中に誤ってPE管を破損し、ガスが漏えいした。 |
| 11/9 | 鳥取 | 植木作業 | LPガス | 0 | 植木屋が木を掘り出す作業中、木を引っ張ると木の根が埋設配管に絡まっていたため、配管が曲がり、ガスが漏えいした。 |
| 11/13 | 福島 | 除染作業 | LPガス | 0 | 除染作業員が集合住宅の敷地内において、掘削作業中に埋設されていたLPガス配管を誤って損傷した。 |
| 11/26 | 福岡 | 掘削工事 | LPガス | 0 | 電柱工事の為道路を掘削したところ、ガス埋設配管を巻き込み破損し、ガスが漏えいした。 |

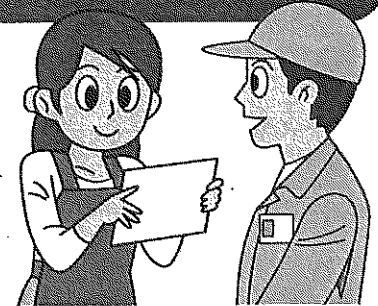
ご自宅のリフォーム工事等の際は事前にガス事業者への連絡をお願いします。



住宅工事等による ガス事故を防ぐために

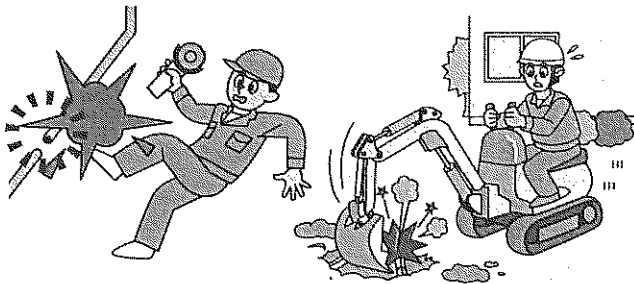
自宅のリフォームや改装工事の際、ガス管やガス供給設備の位置等を確認しないで作業したため、ガス設備を誤って損傷し、お客様や作業員が巻き込まれる事故が発生しています。

お客様や作業員の安全を守るため、工事の際は事前にガス販売店へ連絡し、ガス設備の取り扱い等、注意点を確認してください。



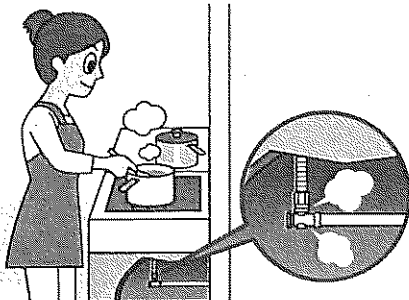
ガス漏えい・爆発の危険

埋設管・供給管の損傷に注意!



ガス管の位置を確認せずに工事を行うとガス管を損傷し、ガス漏れやガス爆発事故に至る場合があります。

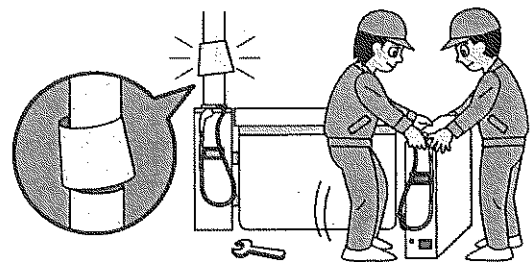
ガス器具の接続に注意!



キッチン等をリフォームする際、ガス器具が正しく接続されていないと、ガス漏れ等の事故に至る場合があります。

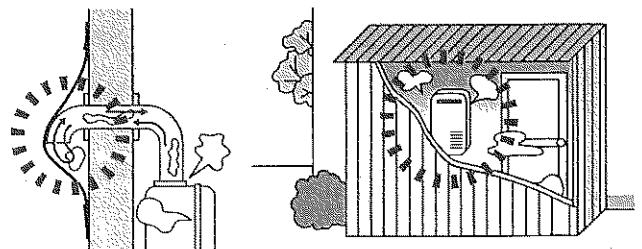
CO(一酸化炭素)発生 の危険

排気筒のはずれ・ズレに注意!



ふろがまや排気筒の交換時等にズレが生じると、COを含んだ排気が室内に逆流し、CO中毒の原因になります。

給排気設備の不全に注意!

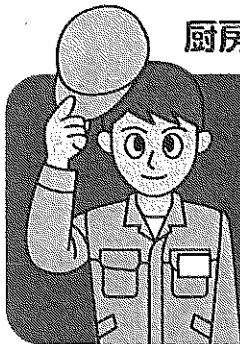


外壁の塗装時に養生シートで給排気設備をふさいだり、屋外式の燃焼器を波板等で囲むと、燃焼器から発生したCOが室内に滞留し、CO中毒の原因になります。



CO(一酸化炭素)は無色・無臭できわめて毒性が強い気体です。気づかないうちに中毒症状を起こし、意識を失ったり、死亡事故に繋がる場合があります。

厨房設備のレイアウト変更の際は事前にガス事業者への連絡をお願いします。



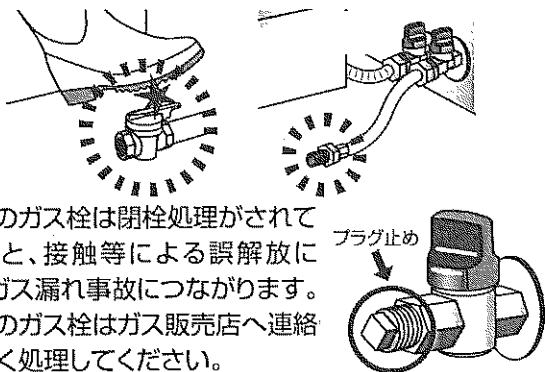
厨房設備のレイアウト変更によるガス事故を防ぐために

業務用厨房設備のレイアウトを変更した際、ゴム管の接続や不要になったガス栓が正しく処理されていないと、ガス漏れ等の事故につながります。厨房での事故は、従業員はもちろん、お客様を巻き込んで被害が大きくなる恐れがあります。お客様や従業員の安全を守るため、厨房機器の入れ替えやレイアウト変更がある時は、ガス販売店に連絡してください。

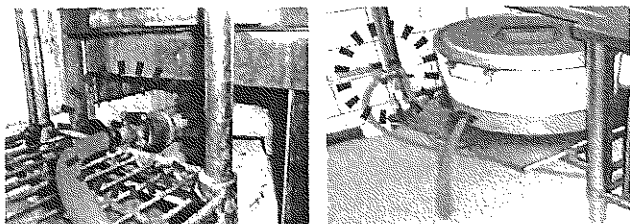



ガス漏えい・爆発の危険

未使用のガス栓に注意!

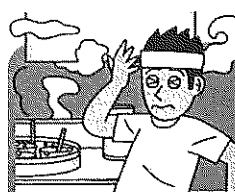


ガス栓・ゴム管の配置に注意!



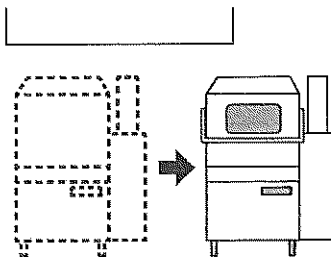
※写真はLPガスの例。都市ガス用のゴム管はクリーム色です。

ガス栓やゴム管が調理台の脚等に接触していると、燃焼器や調理台を移動した際に引っかかる等して、ガス漏れ事故につながります。



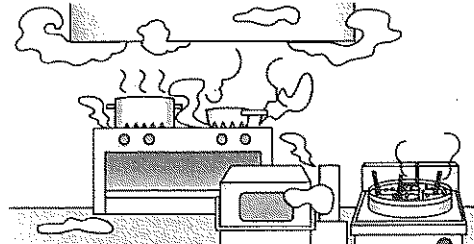
CO(一酸化炭素)発生の危険

排気設備の位置に注意!



レイアウト変更によって正常な排気ができなくなると、COを含んだ排気が室内に滞留し、CO中毒の原因になります。

給排気設備の不全に注意!



燃焼器を増やしたり、入れ替えの際に、給排気設備の能力が不足すると、給排気不全によりCOを含んだ排気が室内に滞留し、CO中毒の原因になります。

機器の異常を感じたら
こちらへ連絡を

電話番号等をご記入ください。

※「緊急時連絡先」は、あらかじめご確認ください。

●会社名

●緊急時連絡先